



全国市区「SDGs先進度」総合第90位 加須市の「持続可能への取組」着実に進む 自転車道の整備 全国第3位

日本経済新聞社の『第2回SDGs先進度調査』の結果、加須市が前回の201位から大幅にランクアップし、90位（県内6位）にランキングされました。

『日経グローバル（2021.1.4No.403）』

調査の概要

- ・「全国市区・SDGs先進度調査」は全国815市区を対象に、2020年10月～11月に実施（2018年度に続いて2度目）
- ・回答自治体691市区（回答率84.8%）
- ・回答と国の公表データを合わせて、「経済」・「社会」・「環境」のバランスの取れた発展に各市区がどれだけつなげているかをランキング
- ・生活環境や交通などの「社会分野」において、日常の移動手段だけでなく、観光振興のツールとしても注目を集めるサイクリング
自転車道が50kmを超える自治体は、さいたま市（67km）、八千代市（熊本県61km）、加須市（55km）の3市しかなく、3市の整備ぶりが目立つ

SDGs（エス ディー ジーズ）とは

SDGs（Sustainable Development Goals）は、日本では「持続可能な開発目標」と解されており、2015年（平成27年）9月の国連サミットで全会一致で採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年（令和12年）までを期限とする17の国際目標のことです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



自転車道総延長距離 ランキング（TOP5）

1位	さいたま市	67 km
2位	八代市	61 km
3位	加須市	55 km
4位	高崎市	38.5km
5位	横浜市	38.0km



加須市の取組

SDGsが掲げる目標は、スケールは異なるものの本市の取組と重なるものも多く、SDGsの理念は、従来から市政の中に相当程度取り込まれています。

例えば… ⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」＝「協働によるまちづくり」